

平成 30 年度

事業報告書

社会福祉法人 中標津朋友会

社会福祉法人中標津朋友会 事業報告

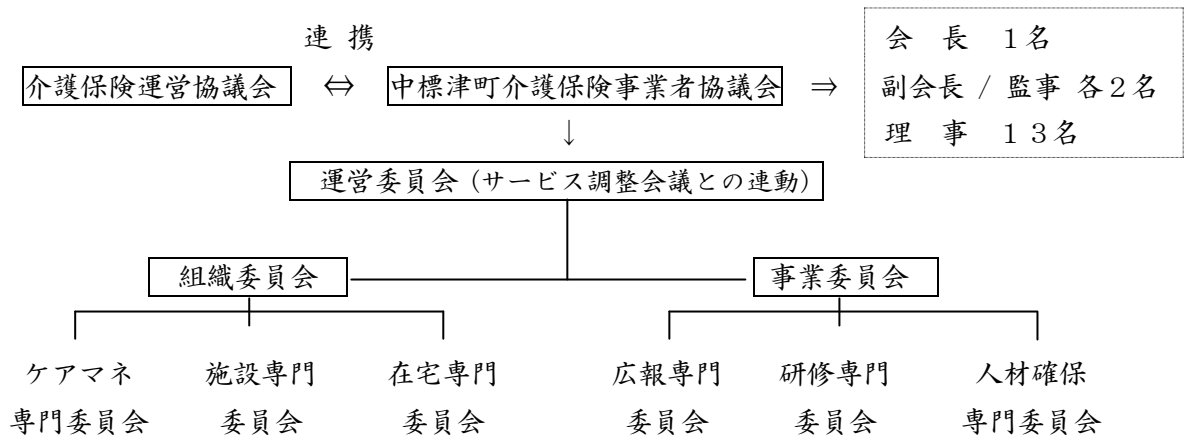
平成 30 年度は、6 年ぶりの診療報酬(2 年毎)と介護報酬(3 年毎)のダブル改定とともに、新たな制度改正の中でスタートした年度でありました。

かつてない高齢化率の上昇や労働人口の減少等、とりまく社会環境が加速度的に変化していく中で、本改正も例外ではなく、介護保険制度の持続・財源確保の観点からも、重度化や予防対策・改善の取り組みを推進する報酬体系へと舵が切られました。

報酬体系全体に於かれましても、基本報酬を抑えて新たな加算(介護サービスに対するインセンティブ付与のためのアウトカム(目指す結果)等)や数値目標に応じて加配するものが多く盛り込まれており、いわゆる地域包括ケアシステムの迅速な整備・構築を目指して、自立支援や医療と介護の連携に軸足を置いた取り組みを重視しております。

法人に於かれましても、これらを背景に看護師の増員に努め「福祉施設看護体制加算Ⅱ」を取得しておりますが、その他の新設加算については、介護士等の担い手不足を要因として実現には至っておりません。依然、町内の介護分野における有効求人倍率は高い水準で推移していると共に、近年は頓に介護人材の確保がより一層厳しさを増していることから、昨年行政との協働で、人材不足解消に向けた組織づくり「中標津町介護保険事業者協議会(町内全 33 事業所加盟)」の設立に向け注力し、地域単位での人材戦略を考察してきました。

〔中標津町介護保険事業者協議会組織フロー図〕



更に、本年度は主要事業として ① 法人創立・開園三十周年(記念事業)を祝い、実行委員会を中心に『one for all ★ all for smile』～ひとりみんなのために みんなは笑顔のためにをスローガンとして、1 年を通し園内外においても様々な催しものや行事を企画し、実施をしてきました。近隣住民や福祉関係団体・奉仕協力者への感謝を忘れず、一軒一軒ご自宅等を訪問し日頃の感謝を伝えるとともに、ユニット増設工事中の騒音やご利用者様の徘徊等のご迷惑やご協力に対するお礼、更には今後のご要望・苦情等も併せて懇談をして参りました。

平成 30 年 11 月 2 日には記念式典を挙行し、北海道議会議員や根室振興局長・中標津町長等をはじめとする総勢約 85 名余りの多くのご参列を賜りました。第一部では、永年に亘

るボランティア活動・クラブ(お花・習字・カラオケ等)活動等の協力奉仕者10組の皆様への表彰を行い、第二部のオープニングには、園舎全景をドローンで撮影したムービーを上映、余興においては、昨年の道老協全道大会にノミネートされたユニットご利用者のご家族と職員の思いを描く「ご家族との絆を深めて」～2018verのプレゼンテーションを披露し、多くの皆様から喝采を頂きました。エンディングには、これまでの歴史を辿った「感謝」のムービーと共に30年の節目を記念し、新たなロゴマークを披露。完成アトラクションでは、万歳三唱に合わせて、ホール上からロゴ入りのウイングハート200枚を飛行させ、盛会裏に幕を閉じることができました。又、今期はユニット開設以来の懸案でありました②中標津りんどう園外構整備事業にも着手しております。2カ年工事である本事業は、第1期工事で道々保落線から駐車場までの道路(下層路盤)及び外構を整備し、湾曲路を直線に修正。加えて、経年劣化が著しい既存棟駐車場の舗装を全面改修いたしました。31年度期の第2期工事に於いては、1年間放置して締めた下層路盤を更に固めて舗装の仕上げを行うと共に、通路花壇の植樹や植生工整備を実施する予定であり、周辺環境との景観にも配慮しております。この工事は、雪解け時の悪路や河川への転落(暴風雪時)等災害時の未然防止対策や安全措置等も考慮されており、職環境面においても、通勤路の安全確保・環境美化や出退勤時の車の汚れやトラブル等の負担減少により、仕事能率にも大きく貢献するものと期待をしております。

先の、介護老人福祉施設等の「平成29年度収支状況調査」(全国老人福祉施設協議会)によると、昨年度のサービス活動収益対経常増減差額比率の全国平均は過去最少の2.7%で、赤字施設は過去最大の36.2%(調査回答2,611施設)となっており、足元の経営環境はより厳しさを増しております。当法人に於かれましても、在宅部門の利用率減少や報酬改定が大きく響いており、特別養護老人ホームが開設以来初の赤字に転じるなど苦戦を非いられております。

サービス区分毎の資金収支では、唯一ユニット型特養が前年度対比3.95%増の28,631千円の差益を計上、法人総体に於ける拠点区分間連結会計年度【平成30年4月1日～平成31年3月31日】決算においては、資金収支ベースで27,605,045円、事業活動収支では9,417,420円の当期資金(事業活動)収支差額をそれぞれ計上しております。

上記調査の赤字要因としても、生産年齢人口減少に伴う人材難は他業界も同様で、業界内外の競争優位を賃金水準で図らざる終えない状況や紹介派遣料等の間接経費増大が影響しているとの結果がでております。当法人も同様、今期は収支差額の黒字化より人材確保の為の投下を優先的に遂行していく方針であり、損益分岐点の大きなウェイトを占める人件費比率(処遇改善及び職員11名増)高騰や介護士養成機関へのアプローチをはじめ、マイナビ等人材派遣業との連携強化や紹介料が嵩んだ影響は否めません。'25年には、全国で約38万人の需給ギャップが生じると推計されており、介護人材の確保・育成は、今尚喫緊の課題でもあります。内部留保を効率的に運用・活用しながら、中長期的な視点に立ち『経営方針2019』に沿って、各々の施設が質的なニーズに応えられるよう、事業展開していかねばなりません。

今後も政策動向に注視しながら、経営組織のガバナンス(内部統制)強化や事業運営の透明性の確保を図り、法人総体の経営分析や財務規律強化にも重点を置いて進めていくと共に、予防から看取りまで「その人らしさを輝かさせる」ご利用者様のQOLに着目したケアの品質の向上に努め、地域福祉サービスの拠点として一層信頼される法人となるよう、事業経営の両立と社会(地域)への貢献を推進していきます。

1. 理事会の開催状況

第1回理事会 平成30年5月30日(水) 中標津りんどう園 会議室

- ① 平成29年度事業報告について
- ② 平成29年度決算報告について
- ③ 定款変更認可申請(案)について
- ④ 諸規程の改正(案)について
- ⑤ 定時評議員会の開催(案)について

第2回理事会 平成30年12月14日(金) トーヨーGH 2F会議室

- ① 平成30年度第1回補正予算(案)について
- ② 諸規程の改正(案)について
- ③ 平成30年度介護保険施設等実地指導結果及び改善是正状況について

第3回理事会 平成31年3月26日(火) 中標津りんどう園 会議室

- ① 平成30年度第2回補正予算(案)について
- ② 平成31年度収支予算及び事業計画(案)について
- ③ 積立資産及び引当金の法人移管並びに円定期預金への預入決議(案)について
- ④ 平成30年度介護保険施設等実地指導結果に係る改善是正状況について
- ⑤ 平成31年度中標津りんどう園暖房燃料等に係る入札(案)について
- ⑥ 平成31年度組織体制並びに人事異動(案)について

2. 評議員会の開催状況

第1回評議員会 平成30年6月27日(水) 中標津りんどう園 会議室

- ② 平成29年度事業報告について
- ② 平成29年度決算報告について
- ③ 定款変更認可申請(案)について

3. 法人監査の実施状況

第1回監査 (外部監査含～小田顧問税理士同席)

平成30年5月21日(月) 中標津りんどう園 会議室

- ① 法人並びに各施設の決算報告及び精査について
 - ・ 各会計の経理及び領収書等証明書類との照合について
 - ・ 財務諸表及び預金残高並びに固定資産管理台帳等の照合並びにの点検確認
- ② 平成29年度入所者預り金及び費用徴収の収支確認について
- ③ 在宅部門の利用者負担金の収支確認について
- ④ 事業報告(9事業)及び運営並びに入所者処遇の状況について
- ⑤ 法人役職員の業務執行及び会務全般について
- ⑥ その他の事項について (第三者委員関連報告)

第2回監査 平成30年5月30日(水) 中標津りんどう園 会議室

- ① 法人並びに各施設の会計経理及び預金残高照合について
 - ・各会計経理及び試算表並びに預金残高照合について
 - ・上半期の予算経理執行状況報告について
- ② 施設運営及び人事管理全般について
- ③ 理事会及び評議員会の会務について
- ④ 定款変更及び諸規程改正(案)について
- ⑤ 入所者預り金の収支確認について
- ⑥ 苦情処理の有無及び状況報告について (全事業所対象)
- ⑦ 居宅介護支援事業の運営について
- ⑧ 利用者負担金(在宅部門)の収支確認
- ⑨ その他の事項について
 - ・顧問税理士による外部監査結果報告〔平成30年5月21日実施分〕について
 - ・第三者委員関連報告について

第3回監査 平成30年12月6日(木) 中標津りんどう園 会議室

- ① 法人並びに各施設の会計経理及び予算執行状況について
 - ・各会計経理及び試算表並びに預金残高照合
 - ・上半期の収支予算執行現況及び補正予算の編成概要について
- ② 施設運営(事業所毎の利用率状況報告含)及び入所者預り金の収支確認について
- ③ 苦情処理の有無及び事故状況報告について (第三者委員関連報告)
- ④ 利用者負担金(在宅部門)の収支確認について
- ⑤ 理事会及び評議員会の会務について
 - ・役員及び評議員の業務執行状況
 - ・理事長、業務執行理事の業務執行報告
- ⑥ 諸規程改正(案)について

第4回監査 平成31年3月26日(火) 中標津りんどう園 会議室

- ① 法人並びに各施設の会計経理及び預金残高照合
 - ・各会計経理及び試算表並びに預金残高照合
 - ・下半期の収支予算執行状況及び補正予算及び新年度予算編成概要の検証
- ② 平成30年度入所者預り金事務の精査について(収支確認・点検)
- ③ 新年度予算・事業計画(案)概要並びに理事会等の会務について
 - ・当初予算編成・計画策定内容の検証について
 - ・役員及び評議員等の業務執行状況及び執行報告の確認について
- ④ 入札執行関係(案)について
- ⑤ 平成30年度介護保険施設等実地指導結果に係る改善是正状況について
- ⑥ 苦情処理の有無及び状況報告について (第三者委員関連報告)

4. 役員研修の実施状況

第1回 役職員研修会 平成30年4月6日(金) 中標津りんどう園 会議室
〔法人主催 : 役員3名 職員47名 計50名出席〕

〔研修会式次第〕

- ① 平成30年度を迎えて（理事長訓示）
- ② 平成30年度事業計画について
法人本部～木村法人事業本部 本部長
特別養護老人ホーム～田中介護・相談課長
広域ユニット型特別養護老人ホーム～佐藤管理課長
デイサービスセンター～堀相談主任（原田センター長 代理）
居宅介護支援センター～犬伏施設長（大谷センター長 代理）
- ③ 平成30年度防災計画について（非常招集連絡網含）～犬伏施設長
- ④ 就業規則（嘱託・臨職就業規則含）の一部改正について～犬伏施設長

第2回 役職員研修会 平成30年6月27日(水) 中標津りんどう園 会議室
〔法人主催：役員8名 職員10名 計18名出席〕

【研修内容】 「計算書類が語る意味とは…」

講師：小田伸一 税理士事務所
所長 小田伸一

- ① 計算書類の種類について～財務諸表は理解しないと見えてこないのが現実
- ② 社会福祉法人制度改革で変更された部分点について
- ③ 会計基準10条について ④ 計算書類の概要について
- ⑤ 社会福祉法人制度改革について ⑥ 公益的な取り組みについて
- ⑦ 法人税課税及び消費税等について ⑧ 社会福祉法人財務開示システムの活用

第3回 役職員合同研修会 平成30年12月14日(金) トーヨーGH 2F会議室
〔法人主催：理事5名、監事1名、評議員7名、職員12名 計25名出席〕

【研修内容】 「社会福祉法人制度改革について」

講師：小田伸一 税理士事務所
所長 小田伸一

- ① 介護報酬のみでは運営が厳しい時代へ～民間参入、補助金減額等
- ② 社会福祉法人の適正規模について
- ③ 社会福祉法人基礎構造改革、法人運営強化のイメージについて
- ④ 社会福祉法人本部機能の強化について
- ⑤ 合併・事業譲渡・法人間連携・協働化について
- ⑥ 再投下対象財産の用途について ⑦ 地域における公益的な取り組みについて
- ⑧ 地域協議会について ⑨ まとめ～法人の将来ビジョンの確立、地域密着等

▼ 平成 30 年度 年間活動（行動）報告

月	中標津朋友会の動き	活 動 内 容	その他の活動
4 月	・ 第 1 回職員会議(2) ・ 平成 30 年度辞令交付式及び役員研修会(6) ・ 第 2 回職員会議(27)	新規採用者・人事異動者・昇格者等 23 名へ辞令交付する。 〔研修〕理事長訓示・各所管より事業計画・基本方針等説明	・ 人事異動者挨拶廻り(11) ・ 別海町ステップ落成式(13) ・ つくしの会総会(19) ・ NALC 定期総会(27)
5 月	・ 法人監査/外部監査(21) ・ 第 2 回監査/理事会(30)	〔理事会〕決算監査・決算報告・事業報告・定款変更等	・ 外構整備工事着工(7) ・ 小針弘氏お別れの会(25)
6 月	・ 第 3 回職員会議(5) ・ 定時評議員会/研修会(27)	〔評議員会〕決算報告・事業報告・決算監査報告・定款変更等	・ 新規採用者研修会(22) ・ 創立記念事業委員会(29)
7 月	・ 第 4 回職員会議(3) ・ 後援会定期総会 (3)	〔後援会〕りんどうの会決算監査・決算報告・事業報告等	・ 駐車場舗装工事着工(14) ・ 事故対策委員会(25)
8 月	・ 第 5 回職員会議(1) ・ 第 15 回りんどう園祭り(4)	小田税理士と会計顧問契約を締結する(1)・交通事故対応(22)	・ 札幌医療大学研修受入(8) ・ 創立記念事業委員会(23)
9 月	・ 第 6 回職員会議(4) ・ 百歳長寿記念贈呈式(14) ・ 第 31 回敬老会 (30:特)	9 月 6 日 AM3:07 分に北海道胆振東部地震が発生。全館停電に伴い、職員非常招集・緊急対応	・ 交通事故現場検証(5) ・ 事故対策委員会(10) ・ 新年度採用職員試験(18)
10 月	・ 第 7 回職員会議(2)・根室振興局長他 2 名施設視察 ・ 第 6 回敬老の集い(21:ユ)	町内全 33 事業所による中標津町介護保険事業者協議会(仮称)設立に伴う準備委員会発足。	・ 大和証券来園(円型定期預金等資産活用概要説明:2) ・ 特養ぬさまい落成式(5)
11 月	・ 第 8 回職員会議(1) ・ 法人創立・開園 30 周年記念式典(2)	行政・社会福祉団体・被表彰者等総勢 87 名により、創立記念式典を挙げる。	・ 市民後見人研修者による施設視察(8)・根室管内社会福祉法人施設合同研修会(22)
12 月	・ 第 9 回職員会議(3) ・ 第 3 回法人監査(6) ・ 介護施設等実地指導(11) ・ 第 2 回理事会・研修会(14) ・ 北海道保健福祉部長・振興局長他 3 名施設視察	〔理事会/監査〕 補正予算・規程改正・法人監査報告/介護保険施設等実地指導結果及び改善是正状況等 〔研修会〕～社会福祉法人制度改革(小田税理士事務所長)	・ 中標津町介護保険事業者協議会(仮称)設立に伴う要望書の提出(中標津町長:12) ・ 町消防署防火査察(20) ・ クリスマス会(25)・忘年会(27)・御用納め(28)
1 月	・ 第 10 回職員会議(7) ・ 給食施設等調査指導(30)	・ 御用始め(7)～理事長訓示 ・ 中標津保健所 2 名来園	・ 中標津町新年交礼会(6) ・ 中標津神社神棚祈願(17)
2 月	・ 第 11 回職員会議(1)	介護ロボット「PEPER」くん・次世代監視カメラ等トライアル	・ 新年度採用職員試験実施(7/19/28 全 3 回)
3 月	・ 第 12 回職員会議(1) ・ 百歳長寿記念贈呈式(19) ・ 第 4 回法人監査/第 3 回理事会(26) ・ 暖房燃料等入札執行(29)	百歳長寿記念贈呈式～中標津町長他福祉課 3 名来訪し贈呈 〔理事会〕 補正予算・新年度収支予算及び事業計画・組織体制や人事異動等について審議	・ 新規採用職員試験(12) ・ 大和証券来園(円型定期預金預入等最終協議:8/14) ・ 第 2 回避難訓練(夜間地震想定:25)